



Title: 夏から秋へ

❖ 幼い子は微笑む

赤ちゃんが生まれて2ヶ月ほど経ったある日、にまあ、という感じであやしてくれる人に笑みを浮かべる。その一瞬のうれしさ、愛らしさ。赤ちゃんを取り巻く人たちにとって、決して忘れられない喜びの時。

昨年亡くなった詩人・エッセイストの長田弘（おさだひろし）の晩年の詩集『奇跡―ミラクル―』（みすず書房、二〇一三年）。その巻頭を飾る詩「幼い子は微笑む」が、いせひでこの絵によって一冊の絵本になりました。

……そして、幼い子は微笑（ほほえ）んだ。／この世で人が最初に覚える／ことばでないことばが、微笑（びしょう）だ。／人を人たらしめる、古い古い原初のことば。……まだことばを知らないので、幼い子は微笑む。／微笑むことしか知らないので、幼い子は微笑む／もう微笑むことをしない人たちを見て、／幼い子は微笑む。……

人の生の苦さも強く感じられる詩であり、乳幼児にはウケにくいパステル調の絵。大人向けと言っていいこの絵本を、生後2ヶ月の孫娘に読み聞かせる。膝の上でおとなしく見、真剣に聞いているわが孫……おお、この子は！（以下略）。世のグランマ、グランパは概ねバカです。

絵本『幼い子は微笑む』（詩・長田弘、絵・いせひでこ、講談社、二〇一六年）は、大館市立中央図書館で所蔵しています。ちなみに、市立図書館4館全体で、訳書を含んで長田弘は38冊、いせひでこは61冊あります。

❖ お知らせがいっぱい

中央図書館9月のイベントのお知らせです。図書館のイベントは基本的にすべて無料です。申込み、問合せはいずれも大館市立中央図書館（☎0186・42・2525）まで。

【「秋のぬいぐるみのおとまり会」参加者募集中】 5月に開催し、テレビの取材も入るなど大好評だった「ぬいぐるみのおとまり会」。早くも9月24日（土）～25日（日）に2回目を開催します。ただいま参加者（参加ぬいぐるみ？）募集中。小学6年生まで申し込めます。定員に達し次第締切りですので、申込みはどうぞお早めに。

【図書館の中のちいさな美術館「安部久雄切り絵展」】 皮切りの蒼杉会の皆さんによる絵画展（8月31日まで）が好評の「ちいさな美術館」。第2弾は9月1日から30日まで、市内在住の切り絵作家・安部久雄氏の作品を2階ロビーで展示します。読書、学習の合間にぜひご覧ください。作品を発表したい方の申し込みも随時受け付けています。遠慮なくご相談ください。

【文化講演会「地図からみた大館」】 9月3日（土）午後2時～4時。主催・大館市立中央図書館後援会。講演者は、大館高校最後の校長を務めた今泉悟氏。大館を見る目が深まること請け合いです。申込み不要、気軽にご参加を。

【雑誌・古本プレゼント】 9月4日（日）からなくなるまで。保存年限の切れた雑誌や、寄贈していただいた図書の一部などを、利用者の皆さんに無料で差し上げます。一人5冊まで。毎年大人気ですので、どうぞお早めに。

【「読書感想文コンクール」募集締切り迫る】 第47回大館市読書感想文コンクールの募集締切りは9月14日（水）です。どうぞお忘れなきよう、応募をお待ちしています。

【おひざにだっこのおはなし会】 毎月恒例の中央図書館のおはなし会。9月は16日（金）10時30分から。おはなしの森の皆さんによる読みきかせに加え、保護者からの相談にも応じています。

なお、近々中央図書館の増設工事が始まります。これから打合せが始まるので全ては未定ですが、現在の中央図書館内部でも一部工事が行われることとなります。利用者の皆様にはご不便を強いることとなりますが、明日の図書館のためです。どうかご容赦くださいますように。 （陽）